

Display

【展示】

図書フロアでは3~4ヶ月にわたる長期的な展示から直近のニュース、時事に関するものまで常時約20の展示を行っています。そこには、探していたもの、懐かしいもの、また全く意識していなかったものなど、インターネットの検索では決して出てこない出会いが待っていることでしょう。偶然の出会いを楽しんでください。

Zone Pick Up!

3F ブルーゾーン ~8/12 (金)

【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

「此広い世界の劇場 ~シェイクスピア展~」

シェイクスピアがこの世界の劇場を去ってからちょうど400年。彼が、その後の戯曲・詩・文学作品にどれほどの影響を与えたのか、そして、演劇界とそれを含む劇場舞台がどのように進化・発展していったのか。比較文化の観点から、日本を含め世界の劇場で繰り広げられる「人間活劇」をご紹介します。



Display Information

【6月の展示情報】※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン

「通覧 江戸絵画」(~9/16) **NEW!**

今年生誕300年の伊藤若冲や没後300年目にあたる尾形光琳をはじめとする、江戸時代が生んだ多彩な絵師たちを、彼らが活躍した時代背景とともに、3期に分けてご紹介します。

特別展「シンデレラの世界展」関連展示 (三角台、~6/22)

「おとぎばなしとサクセスストーリー」

2F ホール

日比谷カレッジ

「額縁からみる絵画」関連展示 (~6/22) **NEW!**

3F グリーンゾーン

「元気白書」(~6/17)

身体や心が元気になるヒントを与えてくれる本、現代病や最先端医療に関する本、元気が足りない時に読みたい本など、肉体的な「健康」だけでなく多角的な視点から展示を行います。

レポートします!

■専門図書館への入口講座 第5回 4/22(金)

「夢の砦- 展覧会カタログの愉悅」
~東京国立近代美術館アートライブラリ~

講師: 水谷 長志 (東京国立近代美術館 主任研究員)

展覧会が終わると作品は在るべき場所へ戻り、後に残るのはカタログのみ。夢い夢の記録である展覧会カタログを閲覧できる美術図書館の魅力写真や映像も交えてご紹介いただき、美術館や博物館など日本の重要な文化施設の誕生から現在開催中の展覧会、最近のニュースまで美術館についても幅広く知ることができました。

Search

【情報】

本からだけではなく様々な方法で情報が調べられます。

◆ **パスファインダー Pathfinder**

特定のテーマについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介した「情報のみちしるべ」です。「人物情報を探す」「法令を調べる」など全24テーマ。すべてご自由にお持ちいただけます。

◆ **新聞 Newspaper**

全国紙をはじめ「日刊水産経済新聞」「建設通信新聞」などの業界紙・専門紙や「The Wall Street Journal Asia」などの英字新聞を含め全37紙をご用意。(バックナンバー、縮刷版については2Fカウンターでお尋ねください)

◆ **雑誌 Magazine**

週刊誌、月刊誌などの一般誌から「日経アーキテクチュア」「月刊コンピニ」などの専門誌まで500タイトル以上。「東洋経済」「判例時報」などのビジネス・法律雑誌は2Fオレンジゾーンにあります。(貸出は行っていません)

◆ **オンラインデータベース On-line Database**

過去の新聞・雑誌の記事やビジネスに役立つ情報にアクセスできます。「聞蔵IIビジュアル(朝日新聞)」「ヨミダス歴史館(読売新聞)」など17種類。(お申込みが必要です)

わたしの一冊

当館スタッフの推薦本を紹介します。
◆おすすめる人 図書フロア 阿久津 美春

『ウォッチャーズ』(上・下)
ディーン・R・クーンツ 著 / 松本 剛史 訳

最初は展開が少しスローテンポに感じますが、だんだんと真相に迫っていく感じがどうにも先を知りたくなり、気がつくと「もうこんな時間!」となるほどひきこまれました。動物を飼った経験のある人なら、必ず一度はこんな風に意思の疎通ができたらいののと思った事間違いなし。ワクワク、ハラハラ、そしてちょっと悲しい物語です。是非、時間のある時に一気に読むことをオススメします。

文藝春秋 / 1993年

人間並みの知能を持つゴールデンレトリバーと、それを追いかける国家秘密機関と、もうひとつの生物の物語。泣けるモダンホラーとして爆発的に売れた、ベストセラー作家クーンツの真骨頂。

す。ぽ。も。ー。な

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

本だけじゃない?!

知って得する日比谷図書文化館との出会い。

図書館というと本棚にたくさんの本が並んでいて、本を借りるとか、調べ物をするとか、何か目的がないと行かない場所。と思いませんか? 日比谷図書文化館は目的がなく訪れても「刺激」と「発見」に溢れています。今回は本だけじゃない「アート」「展示」「情報」について、ご紹介します。知ればもっと活用しなくなる、今までは違う出会いをお届けします。

アート情報支援コーナー(3階ブルーゾーン)

【アート】

アート情報支援コーナーは、「みる」「つくる」「まなぶ」「うごかす」「きおくする」をテーマに様々なアート情報に関してサポートしています。ヒラメキが生まれる刺激的な空間です。

- 都内を中心とした美術館の展覧会図録150館約1,000タイトル
- 「美術手帖」「IMA」など多数の国内アート雑誌から「Art In America」(アメリカ)「frieze」(イギリス)など海外アート雑誌も全6タイトル
- 「新美術新聞」や「美術年鑑」、各種レファレンス事典も充実

その他、美術学校の情報や展覧会情報もあります。

Library Shop & Café Hibiya, Library Dining HIBIYA

ライブラリーショップ&カフェ日比谷(1階)・ライブラリーダイニング日比谷(地下1階)

館内にある、カフェとレストランには図書フロアの本*を持込むことができます。例えば、展覧会図録などは貸出もしていますが大型で重く、ちょっと持ち帰るのは大変。でも、そんな時、カフェなどに持込み、好きなドリンクを手にページをめくる。自分のお気に入りの場所をみつめて過ごせるのも魅力の1つです。*一部の資料を除きます。

開放的な窓辺で日比谷公園の景色を眺めながらの読書もオススメ

かわたまさなおコレクション

シンデレラの世界展

~アメリカに渡ったシンデレラ・ストーリー~

~6月22日(水)まで
休館日:6月20日(月)

◆ 観覧時間:平日10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日祝10:00~17:00 (入室は閉室の30分前まで) ◆ 会場:千代田区立日比谷図書文化館1階特別展示室
◆ 観覧料:一般300円、大学・高校生200円 千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。

calendar 開館時間:平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2016年6月							2016年7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

access

都営地下鉄
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
東京メトロ
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分

*本館に駐車スペースはございません。公共交通機関をご利用下さい。

6・7月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。
「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

6/2 (木) シェイクスピア没後400年記念 『ハムレット』を音読する 一名作を正しく理解するために

講師：河合 祥一郎(東京大学大学院総合文化研究科教授)

シェイクスピア没後400年を記念して、代表作『ハムレット』の名ゼリフを読みながら、作品の神髄に迫ります。弱強五歩格(アイアンピック・ペンタミター)の説明は、英語の童謡、マザー・グースを用いてわかりやすく行います。作品の魅力を音で楽しみください。
※講演は日本語で行います。

- 日時:6月2日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円



6/2 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー第20回 大隈重信撰『開国五十年史』編纂の意義について

講師：鶴飼 政志(早稲田大学・学習院大学・駒澤大学講師)

明治維新期を中心に日本近代史を研究する講師が、大隈重信が撰じた書物『開国五十年史』の編纂目的とその意義についてお話しします。日本の開国以来の50年の歴史を編纂するにあたり、大隈は何を目的としたのか、各章執筆者たちはどう著したのかなどを紹介していきます。

- 日時:6月2日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円(千代田区民500円)



大隈重信『日本百科事典』第一巻(三省堂/1908年)

6/4 (土) レクチャー&トーク・セッション シンデレラと出版文化

講師(パネリスト):馬場 聡(日本女子大学英文学専攻准教授)

李 佳欣(講談社 第六事業局 第一出版部 海外キャラクター編集) 川田 雅直(絵本コレクター、株式会社アトランスチャーチ代表)

誰もが知っているようで、知らないシンデレラをめぐる出版文化史。前段のレクチャーでは、馬場氏が展示作品に言及しながら、アメリカにおけるシンデレラ絵本の変遷の歴史を概説します。後段のトーク・セッションでは、3人のパネリストが日本におけるプリンセス童話をモチーフにしたキャラクター商品の動向や、関連書籍の出版事情について語ります。

- 日時:6月4日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:500円



McLoughlin Bros.社版『シンデレラ』(1897年)

6/5 (日) 演劇への入口講座 第6回 演劇界のレジェンド『放浪記』を手がけて お堀端に咲く東宝演劇

講師：北村 文典(演出家)

昭和から平成にかけて、半世紀以上にもわたり人々に愛され続けてきた『放浪記』。この『放浪記』を始めとして、山田五十鈴、杉村春子、森光子らによる数々の名作を手がけた演出家・北村文典氏より、演出家の立場から見る演劇の世界、そして日比谷の地と演劇との関わりについてお話いただきます。(協力:東宝株式会社)

- 日時:6月5日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



「放浪記」稽古場にて主演の森光子さんと提供:東宝演劇部

6/12 (日) ビースピレッジ第43回 個人の自律を最大限に尊重する 会社のあり方とは

講師：島村 剛(株式会社ウエイクアップ 代表取締役社長)

島村氏は個人の自律性をエンパワーすることで、会社と個人の関係性をより対等な形にリ・デザインすることが、これからの会社経営の進化形の姿と考えています。そのような仮説で取り組んでいる講師の会社経営の経験と直面しているチャレンジを通して、これからの経営について皆さまと考えたいと思います。(主催:NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

- 日時:6月12日(日)14:00~16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:3000円



6/13 (月) 人を育て、勝つための組織づくり(全3回) 第2回 ソフトボールの母として

講師:宇津木 妙子(NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長) 吉井 妙子(ジャーナリスト)

過酷なスポーツの世界で数々の栄光をつかんできた名将から、選手の力を発揮するための指導法や強いチームづくりについて学ぶ全3回講座。第2回はソフトボールの中興の祖と言われる宇津木妙子氏より、オリンピックでメダルに導いた秘策を対談形式で話していただきます。(主催:公益財団法人上廣倫理財団)

- 日時:6月13日(月)18:30~20:00(18:00開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民及び学生は無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

< 第3回予告 >
・7月28日(木) 闘う心を緩めない
講師:古原 知子(プロバレーボール監督)



宇津木妙子氏

6/22 (水) 額縁からみる絵画 レオナルド・ダ・ヴィンチからゴッホまで

講師：小笠原 尚司(額装家)

絵画をみるときに、絵そのものだけでなく「額縁」にも意識を向けると、絵画鑑賞の興行きは建築や装飾、宗教的意味合いなどまで様々に広がります。ダ・ヴィンチからゴッホまで、画家自らがデザイン、制作した額縁も含め、代表的な名画を額縁とともに考えます。

- 日時:6月22日(水)19:00~20:45(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円



「モナ・リザ」

6/30 (木) 明治有田 超絶の美 一万国博覧会と香蘭社に秘蔵された「図案」

講師：森谷 美保(美術史家)

江戸時代初期の創業から400年という記念の年を迎えた有田焼。明治時代になると、欧米で盛んに開催された万国博覧会で一際注目を集め、超絶技巧を極めた製品は各国へと輸出されました。再現不可能と言われる明治の有田焼の魅力、そして万博出品のために描かれた製品の設計図「図案」の謎に迫ります。(協力:世界文化社、西日本新聞社)

- 日時:6月30日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

香蘭社「色絵亀甲地羽根文瓶」図案 1902(明治35)年頃(株式会社 香蘭社蔵)



7/5 (火) 富士山 ーその信仰の歴史ー ~富士講の世界~

講師：松井 圭太(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館 学芸員)

2013年に世界文化遺産に登録された富士山。その姿は芸術上のモチーフになるとともに、神が宿る山として宗教面でも信仰の対象となっていました。そんな富士信仰を代表する「富士講」について、歴史や概要、今日の活動などを解説します。さらに、都内各所に作られたミニチュアの富士山である「富士塚」を知ること、現代でも感じることの出来る富士信仰について学ぶ講座です。

- 日時:7月5日(火)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円



7/6 (水) 校閲ワンダーランド ~自分で調べる、深める、広げる! 校正・校閲の仕事とは~

講師：柳下 恭平(株式会社鶴来堂 代表取締役社長)

「校正・校閲」は文字のまちがいを見つけるだけでなく、事実確認までを行う、情報発信前の最後の砦ともなる仕事です。誰もが情報を発信できる今だからこそ注目されている、「校正・校閲」の仕事と調べもののノウハウ、また、校正者と図書館の関わりについてお話いただきます。

- 日時:7月6日(水)19:00~20:45(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円(学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



7/15 (金) 千代田区民講座 女性リーダーを生み出すミス日本

講師：和田 健太郎(ミス日本コンテスト事務局 統括マネージャー)

日本最高峰の美のコンテスト「ミス日本コンテスト」では、日本を代表する真の美しい女性として、容姿だけではなく心の持ちようや社交性などの均整が問われます。1950年の始まりから現在に至るまで、栄誉を手にした女性たちは様々な分野で活躍しています。時代を切り拓く女性リーダーを生み出す育成事業、ミス日本コンテストの貴重なお話を聞きます。(主催:NPO法人 神田雑学大学)

- 日時:7月15日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:無料

●千代田区民…6月5日(日)から先行受付 ●区民以外…6月12日(日)から受付開始



古文書塾 てらこや 体験講座

◆ 古文書塾 てらこや 7月期 特別講座開講 ◆

「古文書塾 てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。16年7月期の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。体験講座の実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試しください。

- 日時:6月18日(土)~ 順次開講
- 会場:4階セミナールーム(会議室)
- 定員:各23名(申込順) ■参加費:各回1000円
- 資料、体験講座のお問い合わせ: 電話(03-3502-3340) 古文書塾 てらこや担当

歴史の躍動を感じ、江戸時代の多種多様な資・史料を用いて歴史の具体像を楽しみます。

	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火)13:30~	6/28
	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00~	6/28
	浮世絵を読む	(水)10:10~	6/29
	豪商三井の発展ー三井文庫史料にみるその実像	(水)19:00~	6/22
	江戸を楽しむー続・江戸の寺社あれこれー	(木)18:30~	6/23
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30~	6/18

特別研究室 ミニ通信

◆特別研究室企画展示◆

『開国五十年史』に見る明治日本の国づくり自己評価ー総論・政治・経済編ー ▶6月19日(日)まで開催中

特別研究室所蔵の大隈重信撰『開国五十年史』は、開国以来50年の日本の文明化の道程を広く海外に発信すべく編纂されました。この『開国五十年史』の中から、政治・経済・外交等に関する章の内容と執筆者の事跡を紹介しています。あわせて、『開国五十年史』を読むにあたり参考になる本も展示していますので、ぜひ実物を手に取ってご覧ください。

◆ポモータ広報室より◆

ジュンブレイドの由来には、ギリシャ神話の結婚を司る女神が6月を守護している説やヨーロッパの6月は気候が良く結婚式が多いなど諸説あるようです。そこには、明るく幸せを願う思いが込められています。最後に夢を実現させ王子と結婚するシンデレラは、幸せの象徴かもしれません。開催中の「一かわたまさなおコレクションーシンデレラの世界展~ アメリカに渡ったシンデレラ・ストーリー~」は6月22日(水)まで開催中です。日比谷へ幸せの魔法にかかりにきませんか。